

政策方針演説(ナショナルデー・ラリー)

■ 2018年の独立記念集会演説(ナショナルデー・ラリー)の主なポイント

2018年の演説は、人口高齢化に向けた医療費負担の低減と公共住宅の改修、生活費の上昇に対する懸念への対応と、国民の生活支援が焦点に。

■ 人口高齢化に向けた医療費の支援拡充

- ・1950年代生まれの国民を対象とした、診療所の治療費割引、入院費や保険料の補助などからなる「ムルデカ・パッケージ(独立世代パッケージ)」を導入へ。詳細は2019年発表予定。
- ・低・中所得者およびパイオニア世代(1949年以前に生まれた国民)を対象とした医療補助「コミュニティー健康支援スキーム(CHAS)」を、慢性疾患について全ての国民を対象に。
- ・2023年までに公立診療所(ポリクリニック)を6カ所新設へ

■ 築年数の古い公共住宅(HDBフラット)の改修支援

- ・1986年以前に建設されたHDBフラットを対象とする「住宅改修プログラム(HIP)」の対象を、1997年以前に建設のHDBフラットに拡大。また、HIPを、99年リース期間中に2回実施へ。
- ・HDBフラットを99年リースに達する前に、政府に売り戻す「任意早期再開発スキーム(VERS、築70年以降対象)を導入へ。

■ 生活費上昇に対する国民の不安の払しょく

- ・住宅、教育、医療のコストが国民の負担可能な水準に抑えられるよう政府が最大限努力。